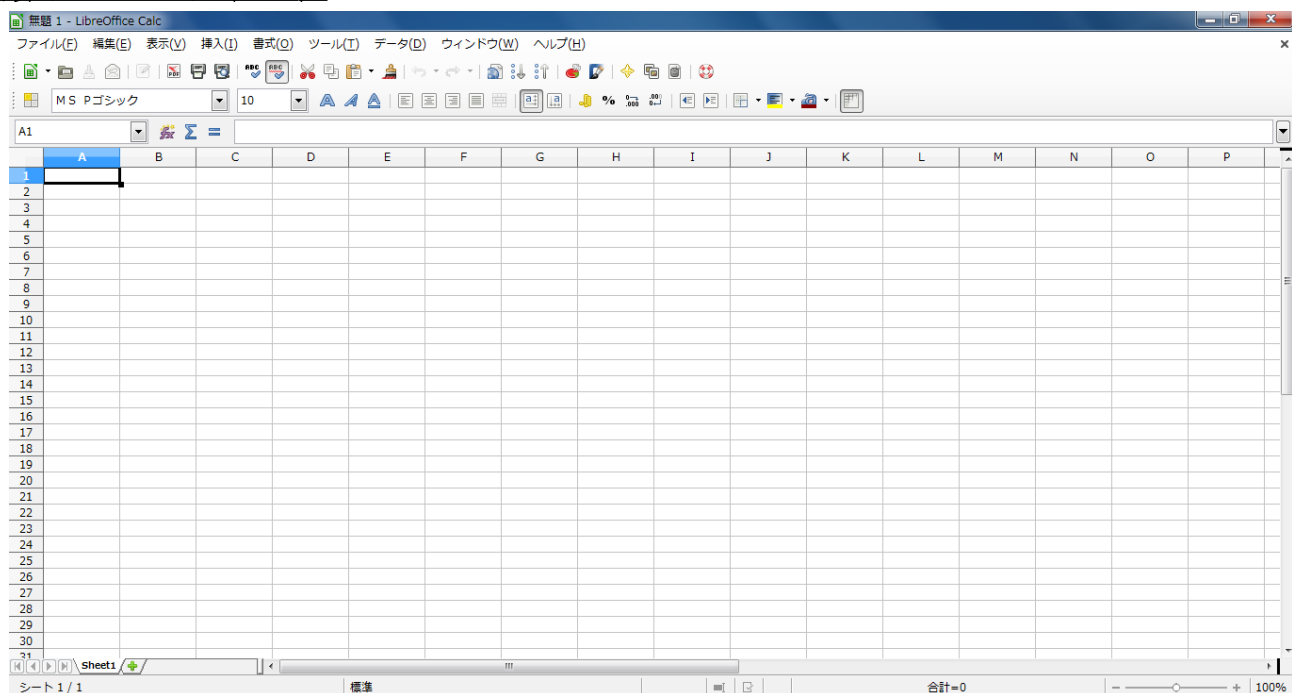


## 表計算ドキュメント (Calc)



Excel とはマクロや関数が若干違うと言われていますが、ooo より **LibreOffice** のほうが、そして **LibreOffice** でもバージョンが新しくなるごとに互換性は高められているようです。

筆者は MS 社 Excel で VBA マクロを使い、電気関係の公式などを計算させていましたが、Calc オプションから【VBA 属性】の項目全てにチェックを入れただけで、問題なく移行できました。同じ Basic 系のマクロなので、移行時の不具合も、そうなさそうです。

関数ウィザードで全てを表示させて比較しましたが、ほとんど一緒に、違うのを探すほうが難しいかもしれません。

電気の公式の難しさ以外は、筆者は平均的な表計算のユーザーだと思いますが、普段使用していると思う Excel との相違を列記してみます。

Calc はよく MS 社 Excel2003 相当と言われます。

### ワークシートサイズの比較

ワークシートサイズ				
	Excel2003	Excf12007/2010	Calc3.6	
レコード	65536	1048576	1058476	行
フィールド	256	16384	1024	列

ワークシートサイズだけで見ると、2003 は超えているが、2007 には届かないといったところでしょうか。

(筆者はレコードが 65536 では足りなかったことがあります、経験的にフィールドが 16384 列も必要なのかどうかという疑問は別の話とします。)

## 2007以降にあって2003及びCalcにないもの

Excel2003から2007になって、一番使えると思った機能は【色フィルター】です。セルに設定した特定の背景色を、フィルターで抜き出すことができるという簡単な機能ですが、あるデータを処理段階に応じて色分けし、色フィルターをかけて進行状況を把握するのに、非常に役立ったことがあります。ありそうでなかった機能で、残念ながらCalcには未だ採用されていません。

## 数式は半角で

Excelは全角で【= 5 \* 6】と入力しても計算しましたが、Calcは半角入力でなければ数式と判断しません。

## セル内での改行

Excel 【Alt+Enter】      Calc 【Ctl+Enter】

## 選択範囲に一括入力

Excel 【Ctl+Enter】      Calc 【Alt+Enter】

## 表示倍率

Excel ワークシートごとに異なる表示倍率を設定できる。

Calc ワークシートごとに異なる表示倍率は設定できない。

表示倍率を設定すると、すべてのワークシートにその倍率が適用される。

## マルチドキュメントインターフェイス(MDI)

Excel MDI 対応      Calc 非対応 (SDI)

MDIとは、親ウィンドウで複数の子ウィンドウを管理するインターフェイスのこと。

SDIでは使用する数だけアプリケーションウィンドウが立ち上がる。

\* 筆者はMDIで表示させるメリットが今一分からず、使い勝手も好きではありません。

MDIの使い勝手は改善されていますが、逆にSDIに近づいているような気がします。

現在のMDIならそこまでやる必要はないのですが、習慣でExcel使用时でもMDIで

表示させずにわざわざ別ウィンドウで表示させます

oooの時代はパスワード保護機能がなかったり、結合したセル間に行や列が挿入できなかったり色々不満はありましたが、現在のLibre Officeでは対応していて、日々進化しています。

分析の際多用するピボットテーブルのフィルタやドリルダウン・グラフ化、VLOOKUP関数など、筆者が使用する範囲においては、Excelに引けを取ることはないと思います。